

※本イメージの権利は株式会社三省堂が有し、個人で利用される場合に限り許諾します。商用利用は固く禁じます。

新明解

国語辞典 第八版

おせち②④〔御節〕正月・五節句などに使う料理。おせち料理④。〔狭義では、正月料理を指す〕

おめでと④⑤〔おめでと〕(感)「↑おめでと(う)ございます⑤」△喜び(と)(新年)や、成功したこと、また勝利を得たことを祝う言葉。表記「『御目出⑤度う・御芽出⑤度う』は、借字。」

がんにじつ④⑤〔元日〕一年の最初の日。「国民の祝日」の一つ。一月一日。↓元旦④

きんが①〔謹賀〕「年賀状で」(「↑新年④」の形で)謹んで新年を祝う意を表わす挨拶④の言葉。

ことし④〔今年〕△話し手(その人)が現に身を置いているその年。〔副詞的にも用いられる〕「↑の(↑)aこれから迎える。b過ぎ去った冬」△ジョギングを始めた」表記「↓付表「今年」」

さんがにち③④〔三箇日〕特定の行事のある三日間。〔狭義では、元旦④から正月三日までの称〕表記「二ヶ日・三ヶ日・三が日」とも書く。

しんねん④〔新年〕新しい年。「↑を迎える」△宴会⑤・謹賀①

スポーツのひ②④〔スポーツの日〕「国民の祝日」の一つ。十月の第二月曜日。「二〇二〇年「体育の日」を改称」

ぞうじ④⑤〔掃除〕●一する(他サ)△掃除機⑤「ごみやほりなどを取り除いて、きれいにすること。〔害毒を流すものを根絶〕掃除する意にも用いられる」△部屋を一する「掃き」③・ふき③・大①●くみとり「の意の婉曲④」表現。「↑屋④」表記「古くは「掃地・掃治」とも書いた。」

ぞう④⑤〔雑煮〕野菜・肉類などの入ったみそしる、または、すましじるなどに餅を入れたもの。多く、正月に食べる。「一餅」③

そつぎょう④⑤〔卒業〕↑する(自サ)△なにする(「事業を完了する意」)●「より高い程度の課程に進んだりある資格を得たりするために」規定のその学科課程を終えること。

「卒業には↑はあるが、学問にはこれ↑というものは無い」①式③・証書⑤・生③・演奏⑤・製作⑤・旅行⑤」↑入学⑤●思うところがあつて、それまで続けてきたことをやめること。「教師づとめをして作家稼業に専念することにした」↑ろんぶん⑤〔論文〕「大学卒業に当たって、提出して審査を受ける論文。略して「卒論」。」

ぞめ①〔初め〕〔造語〕●初めて…すること。「食い・渡り」①●新年になって最初に、その動作をすること。「書き」①・笑い①④・歌い①④

としこし④〔年越し〕↑する(自サ)古い年を送り、新しい年を迎えること。「おみそかの夜を指す。陰暦では節分の夜に当たる」↑そば⑤

としわすれ③〔年忘れ〕↑する(自サ)その年の苦勞を慰勞すること(ための、年末の酒宴)。

はつはる④〔初春〕●春の初め。●「新年」の異称。

はつゆめ④〔初夢〕正月の△元日(二日)に見る夢。「↑富士鷹が三なすび」は、この時の夢とも、また、宝船の絵を枕の下に敷いて寝るとよい夢が見られるともいわれる」

まつのうち③〔松の内〕正月の松飾りのある間。元日から七日までを指す。

やまのひ④〔山の日〕「国民の祝日」の一つ。八月十一日。「二〇二〇年は八月十日」

よろしく④〔宜しく〕〔副〕●成行きに従って適切に対処して事をうまく進める様子。「君の判断であとは↑頼む」彼女と↑やってる」①●「↑…べし」の形で「そうすることが必要であることを表す」。「↑反省(刷新)すべきだ」②〔副助詞的に〕いかにもそれに似つかわしいかっこをする様子。「多くは得意げな様子を表わす」だて男↑ベレー帽をかぶる」●運用①は、「↑…さんよろしくお伝えください」などの形で、その場に居合わせない人に寄せる好意を伝えてもらおうとしたり、「(今後とも)よろしくお願ひいたし(申)上げ(ます)」などの形で、自分を見限ることなく長く付き合ってほしいと願う気持を表わしたりする、挨拶④の言葉として用いられる。

****あける**④⑤〔明ける〕(自下①)一定の期間(の拘束された状態)が終わって、新しい状態が展開する。「夜が↑〔一朝になる〕」年④が「↑新しい年になる」寒④が「↑年季が↑〔奉公の契約期限が切れて、自由の身となる〕」夜も日も明けぬ「↑夜④」休④が「↑年の場合の対義語は、暮れる」〔明けても暮れても〕〔副詞的に〕毎日毎日同じ状態を続ける様子。「↑机に向かってる」

いちよう④⑤〔陽来復〕陰暦十一月の冬至④の日。「俗に、冬が終わって春になる意や、逆境・不運などよくない事が続いた後ようやく幸運が向いて来る意にも用いられる」

うみのひ④⑤〔海の日〕「国民の祝日」の一つ。二〇〇三年から七月の第三月曜日。「もと、七月二十日」